



▲283点が出展された農産物品評会



▲多くの人でにぎわったびっくり商業祭



▲枝豆さや出し選手権



▲県立鷹巣技術専門校の展示



▲桂三河さんによる特別寄席



▲建設機械や農業機械などの展示



▲テント村ではご当地グルメを堪能



▲閉会式でのバター餅の餅まき



未来のために 引き継ぐ産業 生まれる感動

第11回 北秋田市

産業祭

第11回北秋田市産業祭が、10月21日、22日の2日間、鷹巣体育館を会場に行われ、農・工・商全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの市民でにぎわいました。



▲企業の担当者から説明を聞く生徒

小中学生向け企業博覧会で地元企業の魅力をPR

今年は、新たな企画として、秋田県との共同企画で「小・中学生向けの企業博覧会」が開催されました。企業博覧会は、小中学生に対して、市内の様々な業種の仕事の内容を紹介するもので、若い世代から地元企業の企業や職業の内容を知ってもらい、地元にも素晴らしい仕事があるという誇りをもってもらうことで、将来的に地元への就職につなげたいとの目的で実施されました。

会場には製造業を中心に林業、建設業など17の企業や団体が参加。小中学生は5、6人のグループに分かれ、約10分ずつ企業の担当者から説明を受けました。子どもたちは熱心にメモを取りながら各企業の取り組みについて理解を深めていました。

このほかにもJ A女性部による食堂をはじめ、比内地鶏の鉄板焼きやホルモン鉄板焼きなど、市内の美味しいグルメを集めたテント村が設置され、2日間で延べ1万人を超える来場者で大いににぎわいました。

さらに駐車場では、建設機械や農業機械などの展示のほか、秋田犬とのふれあい体験コーナー、初めての出展となる熊対策用の電気柵や害獣用の檻を扱う業者の展示も行われました。

たくさんの催しに、2日間で延べ1万人を超える来場者

2日間にわたり、館内では農産物の展示、企業による自社製品の展示や販売、秋田北鷹高等学校の学校活動の紹介、秋田内陸線のPR、鷹巣・北秋田建設技能組合による実演、市内の保育園の園児による絵画展などが行われたほか、サブ体育館の「びっくり商業祭」では、特産品のバター餅をはじめ、農産物やお菓子、スポーツ用品などが販売されました。

また、ステージでは、三代目秋田県住みます芸人・桂三河さんの特別寄席、ゆでた枝豆を使い、3分間でどれだけさやから豆を取り出せるかを競った初開催の「枝豆さや出し選手権」のほか、毎年恒例となった「坊沢の豆腐早食い競争」なども行われ、会場を盛り上げました。

【JA鷹巣町組合長賞】（4点）
▽にんにく（農事組合法人ぬかさわ）
▽カボチャ（佐藤利子さん・与助岱）
▽長ねぎ（松岡愛子さん・摩当）
▽ペイナス（津谷時夫さん・坊沢）
【JAあきた北央組合長賞】（4点）
▽リンゴ（齋藤理喜郎さん・下杉）
▽ししとう（成田一直さん・東根田）
▽キュウリ（金勝彦さん・本城）
▽スプレー菊（根田輝男さん・長野）
【秋田県たばこ耕作組合長賞】（1点）
▽葉たばこ（豊村清さん・美栄）



▽菌床しいたけ（佐藤哲也さん・鶴田）
▽山の芋（亀山春樹さん・田沢）
【北秋田市市長賞】（2点）
賞に20点、3等賞に24点が選ばれました。21日に行われた表彰式では、1等賞を受賞された方々に、津谷市長や各団体の代表者から賞状と記念品が手渡されました。